Panasonic

取扱説明書
（基本編）
フルカラーデジタル複合機

品番 DP-C3040ZFS / C3040Z
DP-C3030ZFS / C3030Z
DP-C2626ZFS / C2626ZF

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。
●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
●ご使用前に「安全上のご注意」(p.7 ～ 12) を必ずお読みください。
●この取扱説明書は大切に保管してください。

●イラストはオプションを装着した例です。

本書の見かた

■説明書の体系

本機には、取扱説明書（基本編）、操作早見表、および 2 枚の CD が添付されています。

取扱説明書（基本編）

本機を安全にお使いいただくための注意事項、タッチパネルに表示される各機能の画面、エラーコード、主な仕様、消耗品の品番など、基本的な内容を記載しています。
本機をお使いになるときは、まずこの説明書をお読みください。

●本書は、取扱説明書 CD にも格納されています。

操作早見表

本機の基本的な操作手順とよくあるご質問を記載しています。本機のそばにおいてお使いください。

●本書は、取扱説明書 CD にも格納されています。

取扱説明書 CD

各機能の詳しい内容と操作方法を知りたいときに、CD を開いてお読みください。

●取扱説明書（基本編）では、取扱説明書 CD 内の参照先を ◎ で示しています。

セットアップ　ユーザー編	クライアントコンピューターのセットアップの操作、アドレス帳を登録する操作を記載しています。
セットアップ　管理者編	本機のセットアップ、サーバーとなるコンピューターのセットアップの操作を記載しています。 ●セットアップ時のファンクション設定については、「取扱説明書 CD」内の『取扱説明書（ファンクション設定編）』をお読みください。
コピー編	コピーの詳しい内容と操作を記載しています。
スキャナー /E メール編	スキャナー、E メールの詳しい内容と操作を記載しています。
ファクス / インターネット FAX 編	ファクス、インターネット FAX の詳しい内容と操作を記載しています。
プリンター編	コンピューターからの印刷、SD カードや USB メモリーからの印刷について、詳しい内容と操作を記載しています。
ファンクション設定編	ファンクション設定の詳しい内容と操作を記載しています。本機を管理される方がお読みください。
メンテナンス編	用紙の補給、手差しトレイの使い方、消耗品の交換、紙づまりの対処方法などを記載しています。必要に応じてお読みください。
ユーザー認証編	ユーザー認証の概要と操作を記載しています。
基本編 操作早見表	●本機に添付されている『取扱説明書（基本編）』と『操作早見表』が電子マニュアルとして格納されています。必要に応じて印刷してお使いください。

●この CD の使いかたについては、「CD の使いかた」（p.4）を参照してください。

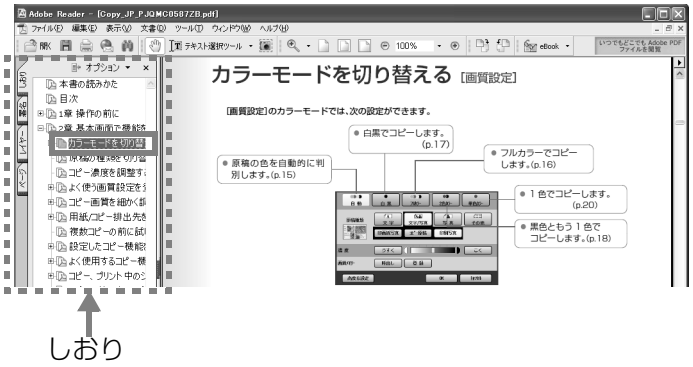
Panasonic Document Management System CD

この CD には、プリンタードライバー、アプリケーションソフトウェア、プリンタードライバーの説明書、アプリケーションソフトウェアの説明書が入っています。
プリント機能やネットワークスキャナー機能を使うときにお使いください。

●この CD の使いかたについては、「CD の使いかた」（p.4）を参照してください。

■本書で使用する記号

本書では、次の記号を使用して操作を説明しています。

記号	説明
お願い	操作の前に設定が必要な事項や、操作をするときにご注意いただきたい内容を示しています。 操作の前に、必ずお読みください。
お知らせ	操作の参考となる情報を示しています。必要に応じてお読みください。
	取扱説明書 CD に格納されている詳細編の参照先を示しています。 ●お使いのコンピューターで取扱説明書 CD を開き、各詳細編を表示してしおりをクリックすると、説明を表示できます。 例：取扱説明書（コピー編） 

■本書の表記について

本書では、本機の操作パネルの各キー、タッチパネル上のボタン、コンピューター画面上のボタンなどについて、下記のように表記しています。

記号	説明
＜ ＞	操作パネルの各キーを示します。 （例：スタートキー→**<スタート>**）
［ ］	タッチパネル上の各ボタン、コンピューター画面上のボタンを示します。 （例：基本ボタン→［基本］）

●本機のタッチパネル上のカタカナ文字は、半角と全角が一部混在していますが、本書では、すべて全角に統一して表記しています。

■国際エネルギースタープログラムについて

このロゴは、国際エネルギースタープログラムに基づくロゴです。
国際エネルギースタープログラム制度は、地球規模の問題である省エネルギー対策に積極的に取り組むべく、エネルギー消費の低減性に優れ、かつ、効果的な使用を可能とする製品の開発及び普及の促進を目的とするものです。
当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

CD の使いかた

■取扱説明書 CD の使い方

この CD には、本機の取扱説明書が保存されています。閲覧するときは、次の手順で操作してください。

1 『取扱説明書 CD』を、コンピューターの CD ドライブにセットする

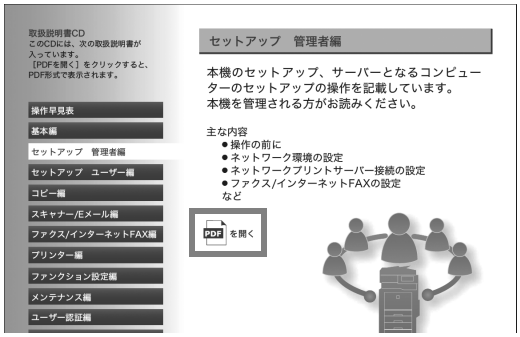
- CD の内容がエクスプローラで表示されます。
- ＣＤ の内容が表示されない場合は、マイコンピューターを開き、CD ドライブを開いてください。
- Windows Vista でお使いの場合、自動再生ウィンドウが表示されます。[フォルダを開いてファイルを表示] をクリックしてください。

2 はじめにクリック.pdfをダブルクリックする

- メニューページが表示されます。
- お使いのコンピューターに Adobe® Reader® がインストールされていない場合は、右の「■ Panasonic Document Management System CD」を参照して Adobe のホームページへ接続し、Adobe® Reader® をインストールしてください。

3 閲覧したい説明書のボタンをクリックする

4 [PDF を開く] をクリックする



- 取扱説明書が表示されます。

■Panasonic Document Management System CD

この CD には、ソフトウェアの説明書が保存されています。閲覧するときは、次の手順で操作してください。

1 『Panasonic Document Management System CD』を、コンピューターの CD ドライブにセットする

- CDが自動再生され、オープニング画面が表示されます。
- オープニング画面が表示されない場合は、マイコンピューターを開き、CD ドライブ内の「setup.exe」をダブルクリックしてください。

2 次のどれかの操作をする

- 「はじめにお読みください」を開く
  [ドキュメント] をクリックし、開きたい説明書をクリックする

- 「ソフトウエアの概要」を開く
  各画面で［ソフトウエアの概要を開く］をクリックする

- 「取扱説明書」を開く
  基本ソフトウエア画面で［ソフトウエアー覧］をクリックし、
  ［取扱説明書を開く］をクリックする

- お使いのコンピューターに Adobe® Reader® がインストールされていない場合は、[こちらのページから最新の Adobe Reader がダウンロードできます。] をクリックしてください。Adobe のホームページに接続できます。

■各種ソフトウェアについて

『Panasonic Document Management System CD』には、本機を便利に利用できるさまざまなアプリケーションソフトウェアが格納されています。必要に応じて、インストールしてお使いください。

基本ソフトウェア

ソフトウェア名	説明
プリンタードライバー	コンピューターからデータを印刷するときに使います。
コミュニケーションユーティリティー	本機でスキャンしたデータを、コンピューターに送信するときに使います。
ネットワーク TWAIN ドライバー	本機に格納されているスキャンデータを、コンピューターに取り込むときに使います。
ファクス送信ドライバー	コンピューターからファクス送信するときに使います。
ジョブステータスユーティリティー	印刷、ファクス送信、コピーなどの操作が終了したことを、コンピューターにポップアップウインドウを表示して知らせます。
クイックイメージナビゲーター	ファクスやスキャナーで取り込んだ文書をコンピューター上で閲覧、編集するときに使います。

拡張ソフトウェア（利用者向け）

ソフトウェア名	説明
ドキュメントマネージャー / ドキュメントビューアー	文書 (画像ファイル）を管理するためのソフトウェアです。ドキュメントマネージャーとドキュメントビューアーを組み合わせると、多数の文書をサムネール形式で分類、管理、閲覧、編集できます。
Panafax デスクトップ	ファクス通信ソフトウェアです。コンピューター上で作成した文書をコンピューターから直接ファクス送信するときに使います。
ダイレクトプリンティングシステム	アプリケーションソフトを開かずに、文書を印刷したいときに使います。

拡張ソフトウェア（管理者向け）

ソフトウェア名	説明
Web デバイスモニター	Web ブラウザを利用して、ネットワークに接続された装置の状態確認や、設定を変更するときに使います。
メモリーカードプリントユーティリティー	本機に SD カードや USB メモリーをセットし、コンピューターを使わずにアプリケーションソフトウェアのデータを印刷するときに使います。
デバイスエクスプローラー	ネットワークに接続された装置を一覧表示するときに使います。
ネットワーク装置設定 / アドレス帳編集	コンピューターから装置の設定を変更したり、アドレス帳を編集するときに使います。
デバイスモニター	ネットワークに接続された装置の状態を監視するときに使います。
デバイスモニター機種追加モジュール	デバイスモニターに機種を追加するソフトウェアです。

お知らせ

- 弊社のホームページから、最新のソフトウェアをダウンロードできます。
  http://panasonic.co.jp/pcc/info/dwnld.html
- プリンタードライバーの［サポート］タブで、［ドライバーダウンロード］をクリックしてダウンロードすることもできます。

目次

お使いになる前に

本書の見かた 2
CD の使いかた 4
目次 6
安全上のご注意 7
取扱上のお願い 14
ご使用の前に 18
キーオペレーターへのお願い 20
本機でできること 22
オプション構成について 23
便利な機能 24

各部の名称

内部 / 外部 25
操作パネル 26
タッチパネル 27

いろいろな機能

コピー機能 28
ファクス / インターネット FAX 機能 30
スキャナー /E メール機能 32
プリンター機能 34

こんなときには

トラブル時の処置 36
U コード /J コード /E コードが表示されたとき 38

付録

主な仕様 40
オプション品について 43
用紙について 44
アフターサービスについて 46

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。
（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

安全上のご注意 必ずお守りください

■本体・オプションの取り扱いについて

⚠警告

■定格 15 A･交流 100 V のコンセントを単独で使う

他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。

■ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

- ぬれた手をよくふいて電源プラグ（金属でない部分）を持ってください。

■同梱された電源コードは、他の製品に使用しない

禁止

火災や感電の原因になります。

■電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだ電源プラグ･ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

［傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる　など］

禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- 電源コードや電源プラグの修理は、サービス実施会社へご相談ください。

■電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■機内に水や金属物（クリップやステープル針など）が入ったときは、すぐに電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

機内の配線がショートして、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜いて、サービス実施会社へご連絡ください。

■本機（オプションを含む）を分解･改造しない

分解禁止

レーザー光線による視力障害、または高温部分や高電圧部分にさわるとやけどや感電の原因になります。

- 修理は、サービス実施会社へご相談ください。

■発煙・異臭・異音などの異常が発生した場合は、電源スイッチを切り電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

- 使用を中止し、サービス実施会社へご相談ください。

⚠ 警告

■ 必ず、アース線接続を行う

アース線接続

漏電した場合は、火災・感電の原因になります。

- アース線接続ができない場合は、サービス実施会社へご相談ください。

■ アース線接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行う また、アース線接続を外す場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから行う

感電の原因になります。

■ アース線は、ガス管・水道管や避雷針などに接続しない

禁止

接地が不十分だったり、落雷などにより、火災、感電の原因になります。

- 移動するときは、サービス実施会社へご相談ください。

■ シンナー・ガソリンなどの引火性の高いものの近くに設置しない

禁止

ガソリンなどが発火し火災をおこす原因になります。

- 移動するときは、サービス実施会社へご相談ください。

■ 電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

禁止

コードが傷つき、火災、感電の原因になります。

- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグ（金属でない部分）を持ってください。

■ 雷が鳴ったら、本機や電源プラグに触れない

接触禁止

感電の原因になります。

■ 自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない

禁止

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

■ 医療機器の近くで使用しない（手術室、集中治療室、CCU* などには持ち込まない）

禁止

本機からの電波が医療機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

* CCU とは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

■ 心臓ペースメーカー装着者は使用しない

禁止

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠ 警告

■ 済スタンプヘッド、SD カード、USB メモリーは、乳幼児の手の届くところに置かない

禁止

誤って飲み込むおそれがあります。

- 万一、飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。

⚠ 注意

■ 床、土台が不安定な場所や振動の激しい場所へは設置しない

禁止

本機が倒れて、けがをする原因になることがあります。

- 移動するときは、サービス実施会社へご相談ください。

■ 本機のキャスター及びアジャスターは固定する

動いて、けがをする原因になることがあります。

- 移動するときは、サービス実施会社へご相談ください。

■ 油煙や湯気や水のかかる場所、ほこりの多い場所には置かない

禁止

火災、感電の原因になることがあります。

- 移動するときは、サービス実施会社へご相談ください。

■ 紙づまりはそのまま放置しない

禁止

高温部の紙づまりを放置すると紙が発火し、火災の原因になることがあります。

- 紙づまりは確実に取り除いてください。

■ 高温表示部とその周辺にはさわらないよう注意する

高温注意

高温部分にさわるとやけどの原因になることがあります。

- 紙づまり処置などで内部をさわるときは、十分に注意してください。

■ 鎖の長いブレスレットやネックレスなどをつけて操作しない

禁止

機内に触れたり、巻き込まれて、感電やけがをする原因になることがあります。

- 万一事故がおきたときは、電源プラグを抜き、サービス実施会社へご連絡ください。

⚠注意

■ 動作中に光源ランプを直視しない

禁止

ランプの光により、目を傷める原因になることがあります。

■ 本機の通風孔をふさがない

禁止

機内に熱がこもり火災の原因になることがあります。

■ 取扱説明書で指示がない部分は操作しない

禁止

高温部分や突起のある部品にさわるとやけどやけがをする原因になることがあります。

- 内部をさわるときは、十分に注意してください。

■ 本機に重いものを置いたり、乗ったり、トレイなどに体重をかけたりしない

禁止

物が落下したり、転んだり、落ちてけがをする原因になることがあります。

■ 原稿台（ガラス）に衝撃を与えたり、重いものを載せたりしない

禁止

ガラスが割れてけがをする原因になることがあります。

- ガラスが割れたときは、電源プラグを抜いてサービス実施会社へご連絡ください。

■ エラー（E#-##）表示をしたときや、異音など異常な動作をしたときは、必ず電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

火災、感電の原因になることがあります。

- （E#-##）は数字を確認（メモ）して、サービス実施会社へご連絡ください。

■ 電源コードは必ず付属のものを使用する

火災、感電の原因になることがあります。

■ トナーまたはトナーの入った容器を火中に投げ入れない

禁止

爆発したり、着火したトナーが飛び散り、火災、やけどの原因になることがあります。

■ トナーまたはトナーの入った容器を子供の手の届くところに置かない

禁止

誤って飲み込むおそれがあります。

- 万一、飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。

安全上のご注意 必ずお守りください

■乾電池の取り扱いについて

⚠ 警告

■ 充電・ショート・分解・変形・加熱・火に入れるなどしない

液もれ・発熱・破裂・発火の原因になります。

■ 電池は乳幼児の手の届かないところに保管する

誤って飲み込むおそれがあります。

- 万一、飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。

■ 電池を保管、廃棄するときは、テープなどで端子部を絶縁する

他の金属や電池と混ざると液もれ・発熱・破裂・発火の原因になります。

■ 電池の⊕極と⊖極は正しく接続する

液もれ・発熱・破裂・発火の原因になります。

■ 電池に直接ハンダ付けをしない

液もれ・発熱・破裂・発火の原因になります。

■ 液が目に入ったら、すぐに洗い流す

目を傷める原因になります。

- こすらずにきれいな水で洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。

⚠ 注意

■ 直射日光・高温・多湿の場所を避けて保管する

液もれ・発熱・破裂の原因になることがあります。

■ 電池は間違ったタイプに交換しない

破裂の原因になることがあります。

- 使用済の電池は、説明書に従って処分してください。

Memo

取扱上のお願い

■ レーザーの安全性について

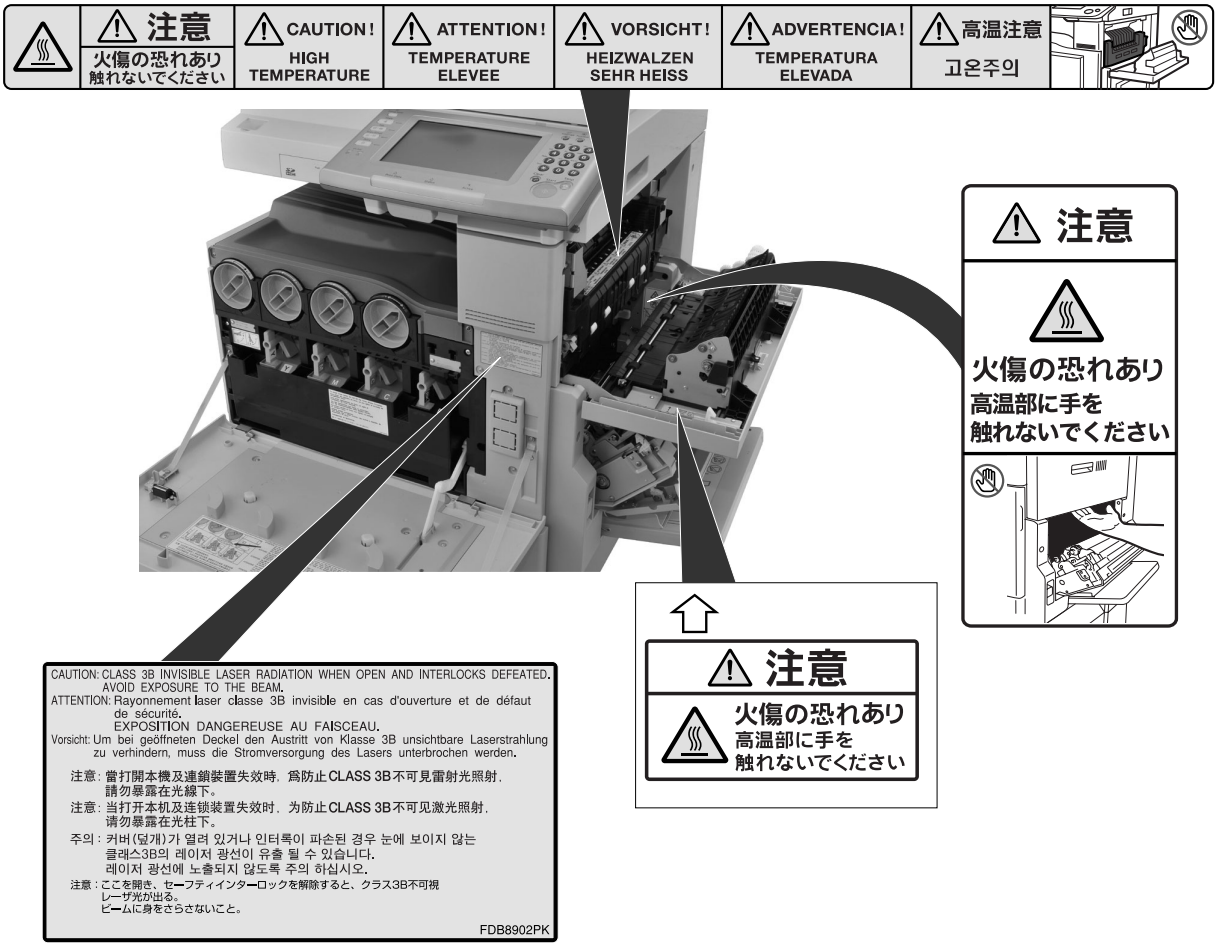
本機はレーザークラス１の製品です。取扱説明書に規定した手順に従って正しくお使いください。

注意：ここに規定した以外の手順による制御や調整は、危険なレーザ放射の被ばくをもたらします。

LASER CLASS 1
LASER KLASSE 1
LASER CLASSE 1
CLASS 1 LASER PRODUCT
LUOKAN 1 LASERLAITE
KLASS 1 LASER APPARAT
Ⅰ类激光设备
クラス１レーザ製品

■ 注意ラベルについて

本機には安全にお使いいただくために次のような注意ラベルが貼ってあります。内容をよく読み、安全にお使いください。



■設置について

●次のような場所への設置は避けてください。
・温度や湿度が極端に高い、または低い場所（設置に適した温度・湿度：10 ℃～ 30 ℃、30 % ～ 80 %RH）
・温度変化の激しい場所
・冷・暖房器具の近く（直接風のあたる所）
・加湿器の近く
・テレビ、ラジオなど電子機器の近く
・直射日光や、蛍光灯などの外部光の影響を受ける場所
・ほこり、アンモニアガスが発生する場所
・シンナー、ガソリンなどの近く
・換気の悪い場所
・床、土台が不安定な場所、振動の激しい場所
●本機の背面は壁から 10 cm 以上離してください。
●電源プラグは、抜き差しが容易にできる近くのコンセントに接続してください。
●本機の移動や運搬はサービス実施会社におまかせください。
・転居の際は、サービス引継が必要です。（事前にサービス実施会社へご相談ください。）

■換気について

本機を使用中は、オゾンが発生しますが、その量は人体に悪影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋での長時間使用や、大量にコピーをとる場合には、快適な作業環境を保つために部屋の換気をお勧めいたします。

■操作時のお願い

動作中に電源を切ったり、本体カバーなどを開けたり、給紙カセットを引き出したりしないでください。用紙づまりの原因になります。

■用紙・トナーについて

●用紙、トナーなどは湿気の少ない涼しい場所に保管してください。
●用紙は 64 ～ 169 g/m^2（手差しトレイでは 55 ～ 256 g/m^2）の上質紙、再生紙が使用できます。できるだけ当社の推薦紙（p.44）をご使用ください。
●トナーは当社指定品をご使用ください。
●当社指定品、推薦品以外の用紙やトナーを使用されますと、コピー品質への悪影響および性能を損なう場合があります。
●用紙づまりの処置やトナーの入った容器を交換するときは、トナーが飛び散らないようにしてください。トナーが目や口に入った場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。トナーで手や衣服が汚れた場合はすぐに水で洗い流してください。
●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●トナー容器は分解・改造しないでください。
●トナーまたはトナーの入った容器は子供の手の届かないところに置いてください。
●トナーまたはトナー容器の不適切な取扱いにより、トナーが飛散した場合は、飛散箇所から離れ、トナーの皮膚接触、吸引を避けてください。また、トナー飛散の処置については、サービス実施会社にご相談ください。

■使用上のお願い

● キャッチホンサービスをご契約になっている場合

・ファクスの送信や受信中に、他の方から電話やファクスがかかってくると、ファクス受信画像に線が入ったり、通信が中断してしまうことがあります。
・上記の場合は、キャッチホンや本機の異常ではありませんのでご了承願います。
・なお、キャッチホンⅡサービスをご利用になり、割り込み音の回数を「0」回に設定して頂くと、ファクス通信中にキャッチホンが入っても異常なく通信できます。

● 各サービスについて

・発信者番号通知・ダイヤルインサービスはあらかじめ NTT との契約が必要です。本サービスの詳細につきましては NTT にお問い合わせください。
・NCC 回線をご利用の場合は、NCC 各社でサービス内容が異なります。発信者番号通知・ダイヤルインサービスの詳細につきましてはご契約の NCC にお問い合わせください。

● 誤通信防止について

誤通信を未然に防ぎ、確実に相手と通信するためには、次の点に注意してご使用いただくことをお勧めいたします。
・相手先のファクス番号、アドレス帳の登録番号をご確認いただくとともに、取扱説明書をよくご確認のうえご使用ください。
・大切な情報を送る場合には、「手動送信」により相手を確認したうえで通信されることをお勧めします。
1.まず外部電話機の受話器を上げて（または外部電話機がない場合は、モニターボタンを押して）、発信音（ツー音）を確認してから、ファクス番号をダイヤルしてください。
2.相手先からファクス応答信号（ピー、ヒョロロー・・音）が聞こえたらスタートボタンを押して、外部電話機の受話器を戻してください。

● 製品リサイクルについて

・使用済や不要となった製品は、回収して、環境保護、資源有効活用のため、リサイクルしています。本機を廃却する場合は、必ず弊社または販売店、サービス実施会社にご連絡ください。
・使用済や不要となったドラムユニット・トナーカートリッジ・廃トナー容器等の消耗品は、環境保護、資源有効活用のため、適切な処理が必要です。消耗品を廃却する場合は、必ず消耗品の梱包箱に記載されている回収連絡先、弊社または販売店、サービス実施会社にご連絡ください。

■ その他

● 電波障害防止について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

● 法律で禁じられていること

次のようなコピーは所有するだけでも法律により罰せられますので十分ご注意ください。
・法律でコピーを禁止されているもの
①国内外で流通する紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券
②未使用の郵便切手、官製はがき
③政府発行の印紙、酒税法や物品管理法で規定されている証紙類
・注意を要するもの
①株券、手形、小切手など民間発行の有価証券、定期券、回数券などは、事業会社が業務上必要最低部数をコピーする以外は政府指導によって注意が呼びかけられています。
②政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可書、身分証明書や通行券、食券などの切符類のコピーも避けてください。
・著作権の対象となっている書籍、絵画、版画、地図、図面、写真などの著作物は個人的または家庭内その他、これに準ずる限られた範囲内で使用するためにコピーする以外は禁じられています。

● 電源高調波についてのお知らせ

JIS C 61000-3-2 適合品
本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

● 物質エミッションについて

粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼンおよび TVOC の放散については、エコマーク認定基準「No. 117 複写機 Version2.6」の物質エミッションの放散速度に関する認定基準を満たしています。（トナーは本製品用に推奨しております DQ-TUN28K、DQ-TUN20C、DQ-TUN20M、DQ-TUN20Y を使用し、複写を行った場合について、試験方法：RAL-UZ-122:2006 付録 2 に基づき試験を実施しました。）

ご使用の前に

■節電機能について

本機には、機械を使用しないときに機械内部の消費電力を抑える節電機能（節電モード、スリープモード）が備わっています。
お買い上げ時の設定では、本機を 3 分間使用しないとスリープモードに移行するように設定されています。
節電モード、スリープモードどちらのモードに移行している場合も、プリントデータの受信、ファクス受信、メール受信ができます。

節電モード	操作パネルや定着部の電力を下げます。 タッチパネルが消灯し、 **<節電>**が点滅します。 **<節電>**を押すと、節電モードを解除できます。 ウォームアップタイム： 約 15 ～ 19 秒（室温 20 ℃）
スリープモード	節電モードより、さらに電力を下げるモードです。 タッチパネルが消灯し、 **<節電>**が点灯します。 **<節電>**を押すと、スリープモードを解除できます。 ウォームアップタイム： 約 15 ～ 19 秒（室温 20 ℃）

●ウォームアップタイムは機種によって異なります。「主な仕様」（p.40）を参照してください。

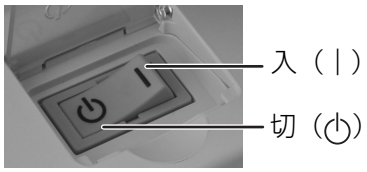
お知らせ

●節電モード、スリープモードに移行するまでの時間は変更できます。『取扱説明書（ファンクション設定編）』を参照し、［共通機能設定］＞［09 キーオペレーター専用］＞［26 スリープタイマー］または［27 節電モードタイマー］を設定してください。
●消費電力については、「主な仕様」（p.40）を参照してください。
●スリープモードから復帰するときは、**<節電>**を押してください。

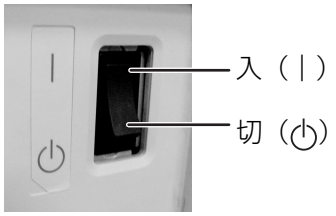
■スイッチに関するお願い

本機を長期間使用しない場合は、次の手順でスイッチを切っておいてください。
（スイッチを入れる場合は、切るときと逆の手順で操作します。）
（1）本体正面左側にある「スタンバイスイッチ」（p.25）を切ります。
（2）タッチパネルの表示が消えるまで待ちます。
（3）本体背面にある「電源スイッチ」（p.25）を切ります。
（4）給紙カセット 1 を開いたところにある「除湿ヒータースイッチ」（「除湿ヒーターに関するお願い」（p.19）を切ります。

スタンバイスイッチ（本体正面左側）



電源スイッチ（本体背面）



■オートクリアタイムについて

本機には、操作パネル上で一定の時間操作をしない場合は、操作がリセットされ初期画面に戻るオートクリア機能が備わっています（20 秒前になると、オートクリアを確認する画面が表示されます）。
お買い上げ時は、1 分間本機を操作しないと、初期状態に戻るように設定されています。

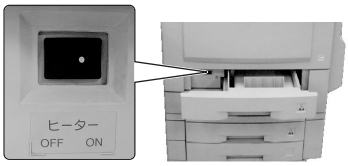
お知らせ

●オートクリアタイム（初期状態に移行するまでの時間）は変更できます。『取扱説明書（ファンクション設定編）』を参照し、［共通機能設定］＞［09 キーオペレーター専用］＞［28 オートクリアタイム］を設定してください。

■除湿ヒーターに関するお願い

使用方法

- 除湿ヒーターを使う場合は、ヒーターのスイッチを「ON（入）」にしてください。
- 除湿ヒーターを使わない場合は、ヒーターのスイッチを「OFF（切）」にしてください。



除湿ヒーターのスイッチは給紙カセット 1 を開いた場所にあります。

使用上のお願い

結露の発生する季節以外は使用しないでください。

お知らせ

- 詳しくはサービス実施会社へお問い合わせください。

■SD メモリーカードについて

- SD ロゴは商標です。SDHC ロゴは商標です。SD ロゴマーク /SDHC ロゴマーク入りの純正の SD カードを使用できます。
- 本機では、SD メモリーカード（最大 2 GB）、SDHC メモリーカード（最大 32 GB）が使用できます。
- 本書では、SD メモリーカード / SDHC メモリーカードを総称して「SD カード」と記載します。

■最大コピー部数について

部門カウンター機能でコピー部数制限が設定されている場合、部門のコピー部数制限の上限に達すると、タッチパネルにメッセージが表示されます。部門の管理者にお問い合わせください。

■濃度 / 画質の自動調整について

本機は約 105 枚コピーまたはプリントをするごとに、定期的に濃度 / 画質の自動調整を行います。自動調整中は、コピーやプリント動作が約 20 秒間停止します。

■障害について

コンピューターウィルスの感染や、外部からの衝撃などにより、本機にデータ消失やその他の障害が発生した場合、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。

■ICカードによる部門カウンター管理について

ICカードによる部門カウンター管理機能を搭載している場合は、電源を入れると ID カード読み込み画面が表示されます。
使用する機能のキーを押して、あらかじめ登録されたカードを読み込ませると、通常の画面が表示されます。

カードを読み込ませる

キーオペレーターへのお願い

機器の機密保持のため、キーオペレーターは機器設置、設置環境の構築、セキュリティー機能の作動、機器の交換・廃棄時にいたるまで、下記項目を行うことを推奨いたします。

1. キーオペレーターはサービス技術者がメーカーまたはその関連会社、販売会社の社員であることの確認のために身分証明書の提示を求め、確認してください。
   また、お客さまの機器情報（キーオペレーターパスワードなど）を電話、またはメールで直接問い合わせを受けた場合でも、身分の提示を求めてください。

2. 本機を接続するネットワークから外部ネットワークに接続する際には、ファイアーウォールを介して接続してください。
   また、本機とクライアント PC またはサーバーを接続する際には、盗聴されないネットワーク環境の構築、たとえばスイッチングハブを利用したネットワーク環境を構築してください。

3. キーオペレーターパスワードはセキュリティー機能を保持するうえで重要な情報です。キーオペレーターパスワードは初期値より変更し、パスワードが漏えいしないように、自らパスワードの秘密を保持してください。
   キーオペレーターパスワードの変更方法については『取扱説明書（ファンクション設定編）』を参照し、[共通機能設定] > [09 キーオペレーター専用] > [80 キーオペレーターパスワード] の設定をしてください。

4. Webサーバーパスワードは本機のセキュリティー機能を保持する上で重要な情報です。初期値のパスワードより変更し、パスワードが漏えいしないように、自らパスワードの秘密を保持してください。
   Web サーバーパスワードの変更方法は『取扱説明書 (デバイスエクスプローラー/Web サーバー編)』を参照して設定を行ってください。
   設定を行う際にパスワードを入力した状態で本機を放置しないでください。また、PC 上のブラウザーで Web サーバーパスワードを入力しログインを行った状態で放置をしないでください。

5. ネットワーク装置設定パスワードはセキュリティー機能を保持するうえで重要な情報です。ネットワーク装置設定パスワードは初期値より変更し、パスワードが漏えいしないように、自らパスワードの秘密を保持してください。
   ネットワーク装置設定パスワードの変更方法については『取扱説明書（ファンクション設定編)』を参照し、[共通機能設定] > [09 キーオペレーター専用] > [73 ネットワーク装置設定パスワード] の設定をしてください。

6. ハードディスクドライブロックパスワードを初期値より変更してお使いください。
   ハードディスク装置にパスワードを設定することにより、ハードディスク装置が持ち出された場合でも、パスワードによるロックを行うことで第三者による不正な再出力を防止します。
   また、ハードディスクドライブロックパスワードは、本機の修理の際にも必要となります。キーオペレーターはパスワードが漏えいしないように、自らパスワードの秘密を保持してください。
   ハードディスクドライブロックパスワードの変更方法については『取扱説明書（ファンクション設定編)』を参照し、[共通機能設定] > [09 キーオペレーター専用] > [68 ハードディスクドライブロック] の設定をしてください。

7. 本機を悪意の第三者による不正操作から防衛するためID/パスワードの設定は以下を実施してください。
   1) 設定可能なけた数最大までを利用して設定してください。
   2) 設定可能な文字種類を多く組み合わせてください。
   3) ID/ パスワードを定期的に変更してください。
   各種 ID/ パスワードの設定・変更時にはキーオペレーターだけが設定画面を見られる環境にし情報が漏えいしないようお客さまの責任において管理してください。

8. メールボックスに蓄積された文書は速やかに印刷してください。
   印刷することにより文書データが削除され、第三者による不正な再出力を防止します。
   印刷方法については『取扱説明書（プリンター編)』または『取扱説明書 (プリンタードライバー編）』の「メールボックスからの印刷」を参照してください。

9. ハードディスクに保存したスキャンデータは、誰でも閲覧、削除することができる情報です。スキャン後速やかに別の媒体へ保存を行い、本機のハードディスクから消去してください。スキャンデータの保存、消去に関しては『取扱説明書（スキャナー /E メール編）』を参照してください。

10. すべての作業終了後、必ずリセットボタンを押して待機画面に戻してください。また、オートクリアタイムの設定を解除しないでください。

11. 本機を廃棄の際は、ハードディスク装置を初期化して、ハードディスク装置内に蓄積されたデータ領域を上書き消去し、復元できない状態にしてください。さらに本機に記録されたすべてのデータを消去することが必要です。消去にはサポート対応が必要になりますのでサービス技術者へ依頼してください。
ハードディスク装置の初期化方法については『取扱説明書（ファンクション設定編）』を参照し、[共通機能設定] > [09 キーオペレーター専用] > [65 ハードディスクイニシャライズ] の設定をしてください。

12. SD カードなどの外部メモリーを破棄、または譲渡する際は、必ずカード本体を物理的に破壊しデータを読み取れないようにするか、市販のデータ消去用ソフトウェア等を使い完全にデータを消去してください。
SD カードなどの外部メモリーの情報はお客さまの責任において管理してください。

13. 本機に読み込んだ情報（文書 / 画像）や受信した情報、または設定 / 登録した情報（アドレス帳など）は、お客さまの責任において管理してください。
万が一、本機の不都合によって消失した場合、復元は不可能です。その内容の保証についてはご容赦ください。

14. 本機の設定内容を誤るとお客さまの情報が意図せず外部に漏えいしたり、本機のご使用に支障をきたす場合があります。各種設定を行う際は内容をご確認ください。

15. サーバー証明書の有効期限が切れると本機のご使用に支障をきたす場合があります。有効期限が切れる前に再設定するようお客さまの責任において管理してください。

16. NTP サーバーによる自動時刻をご使用される際は、信頼できる NTP サーバーに接続して時刻情報を取得するようにしてください。

※ 本機のセキュリティー設定には、キーオペレーターが設定するパスワード（8 文字）の入力が必要です。初期値は 00000000（8 文字）です。パスワードを設定することにより、キーオペレーター以外によるセキュリティー設定の変更を防護します。
また、パスワードは任意に設定することができます。

キーオペレーターの選定には十分にご考慮ください。取扱説明書の記述内容を理解し、上記対応を確実に実行していただける方をおすすめします。

本機でできること

できること	説明
 コピーする	●フルカラーでコピーできます。 カラーモードが検知され、自動的にフルカラーでコピーできます。 ●両面コピー、複数ページを 1 ページに集約、ソートなど、いろいろなコピー機能を搭載しています。
 プリントする	●本機にはプリンターコントローラー（PCL6）が標準で装着されており、600dpiで印刷できます。 ●本機前面に、SD カードと USB メモリーのスロットが内蔵されています。SD カードや USB メモリーなどのメディア内のデータを、コンピューターを介さず、直接印刷できます（簡易印刷）。 ●簡易印刷できるデータ： ・プリンターコントローラーユニット（DA-MC401）未装着時 デジタルカメラの画像（JPEG 形式、TIFF-FX 形式） PDF（本機でスキャンした画像データのみ） ・プリンターコントローラーユニット（DA-MC401）装着時 デジタルカメラの画像（JPEG 形式、TIFF-FX 形式） PDF ファイル（本機でスキャンした画像データ、およびテキストやグラフィックを含むデータ）
 ファクスを送受信する	●高速な SuperG3/G4 モードで、白黒画像をファクス送受信できます。 ●受信文書は、普通紙に記録できます。 ●両面原稿の送信、スタンプ機能、タイマー送信など、豊富なファクス機能を搭載しています。 （G4 モードは、G4 通信ユニット装着時に使用できます。）
 インターネット FAX を送受信する	●白黒で読み取った画像をEメールの添付ファイルとして、インターネットFAXやコンピューターに送信できます。 ●送信できるファイル形式は、次のとおりです。 ・相手がインターネット FAX の場合：TIFF（TIFF-F）形式の白黒画像 ・相手がコンピューターの場合：TIFF（TIFF-F）形式または PDF 形式の白黒画像
 データを読み取る	●フルカラーで読み取りができます。 ●読み取ったデータは、次のいずれかに保存できます。 SD カード、USB メモリー、本機のハードディスク内のイメージボックス、 ネットワーク上のコンピューター
 E メールを送る	●次の画像を E メールの添付ファイルとして送信できます。 読み取った原稿（フルカラー / 白黒）、SD カードの画像、USB メモリーの画像、本機のハードディスク内のイメージボックスの画像 ●送信できるファイル形式は、JPEG、TIFF、PDF、Microsoft® Word 文書、Microsoft® PowerPoint® 文書です。
 アプリケーション ソフトウェアを使う	●『Panasonic Document Management System CD』には、コンピューターにインストールして便利に使えるアプリケーションソフトウェアが格納されています。 アプリケーションソフトウェアについては、「各種ソフトウェアについて」（p.5）を参照してください。

お知らせ

- 本機では、[スキャナー/E メール]、[ファクス / インターネット FAX] のどちらからでも E メール送信できます。
  [ファクス / インターネット FAX] から E メールを送信する場合、添付ファイルは TIFF（TIFF-F）形式、または PDF 形式の白黒画像ファイルとして送信されます。
  また、受信側がコンピューターの場合、専用のビューワーが必要です。
- 本機に、オプションのソフトウェアを追加することもできます。
  オプションのソフトウェアには次のものがあります。
  PS （PostScript）プリンター、課金管理ソフト、パナソニックドキュメント配信システムなど

オプション構成について

本機は、お買い上げいただいたモデルにより、使用できる機能が異なります。
それぞれの機能に必要なオプションは、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。

各機種で使用できる機能

表中の○は標準搭載、オプション名が書かれている機能はその機能を使用するために必要なオプションです。

機能			品番	
			DP-C3040ZFS DP-C3030ZFS DP-C2626ZFS	DP-C3040Z DP-C3030Z DP-C2626ZF
基本機能	コピー		○	○
	プリンター		○	○
	ファクス		○	※ 1
	インターネット FAX		○	※ 2
	ネットワークスキャナー		○	ネットワークスキャナー / E メールユニット（DA-NS402）、ハードディスクユニット（DA-HD41）
	E メール		○	ネットワークスキャナー / E メールユニット（DA-NS402）、ハードディスクユニット（DA-HD41）
その他の機能	［合紙 / 合成］の［ファイル編集］	特定の原稿を他の原稿に合成してコピーしたいとき、合成用のフォームを登録、編集、削除できます。	○	ハードディスクユニット（DA-HD41）
	［コピー予約］	コピー印刷中に次のコピー原稿を読み取りできます。	○	ハードディスクユニット（DA-HD41）
	メールボックスからの印刷	ハードディスクに保存したデータを、必要に応じて印刷できます。	○	ハードディスクユニット（DA-HD41）
	プリンター高画質印刷	オプション装着時に 1200 dpi の高画質で印刷できます。	ページメモリーボード（DA-PMV56）	ハードディスクユニット（DA-HD41）、ページメモリーボード（DA-PMV56）

※ 1　DP-C2626ZF は標準搭載。
　　DP-C3040Z と DP-C3030Z はオプションの G3 通信ユニット（DA-FG402）が必要です。

※ 2　DP-C2626ZF は標準搭載。
　　DP-C3040Z と DP-C3030Z はオプションのインターネット FAX（DA-NF320）が必要です。

便利な機能

■操作パネルの角度調整

操作パネルの角度を 5 段階に調整できます。

リリースレバーを引きながら、角度を上下に調整します。

標準の位置（15 度）
立った状態で操作をするときに便利な角度です。

25 度
タッチパネルを見やすくするための位置です。
（例：照明器具の反射光を避ける場合など）

35 度
タッチパネルを見やすくするための位置です。
（例：照明器具の反射光を避ける場合など）

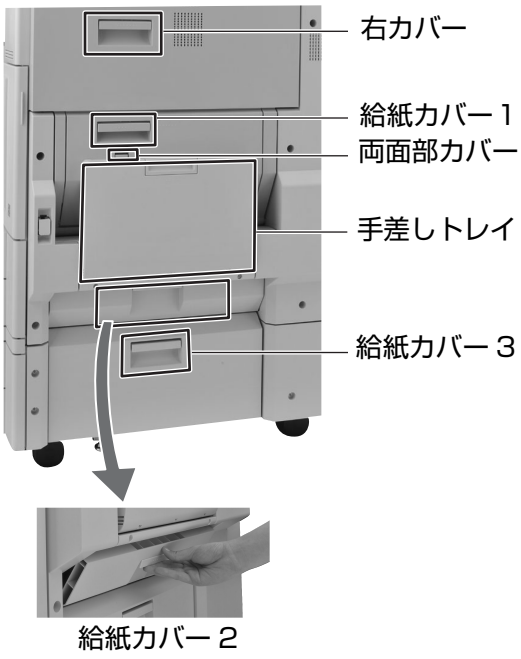
45 度
タッチパネルを見やすくするための位置です。
（例：照明器具の反射光を避ける場合など）

55 度
椅子や車椅子に座って操作をするときに便利な角度です。

内部 / 外部

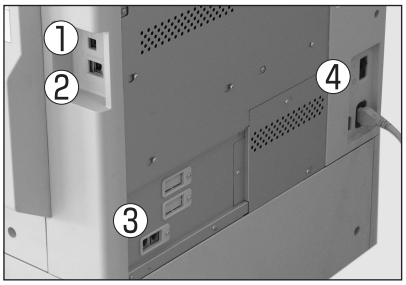
■外側

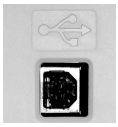
■外側（側面）



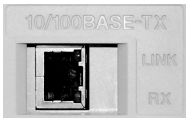
■内側（前カバーを開いた状態）

■外側（背面）



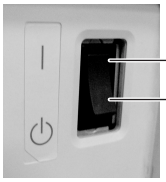


① USB 端子
コンピューターに直接接続して印刷するときに使います。



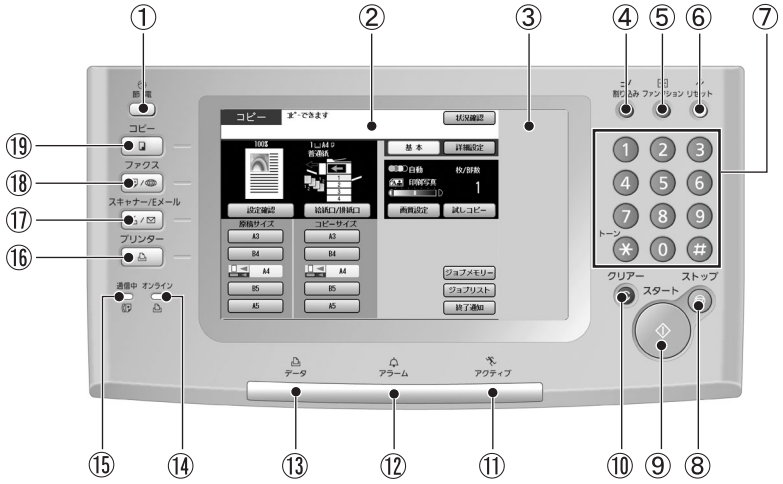
② LAN 端子
ネットワーク接続するときに使います。

③ 電話線接続口
ファクスで使います。



④ 電源スイッチ
入（｜）
切（⏻）

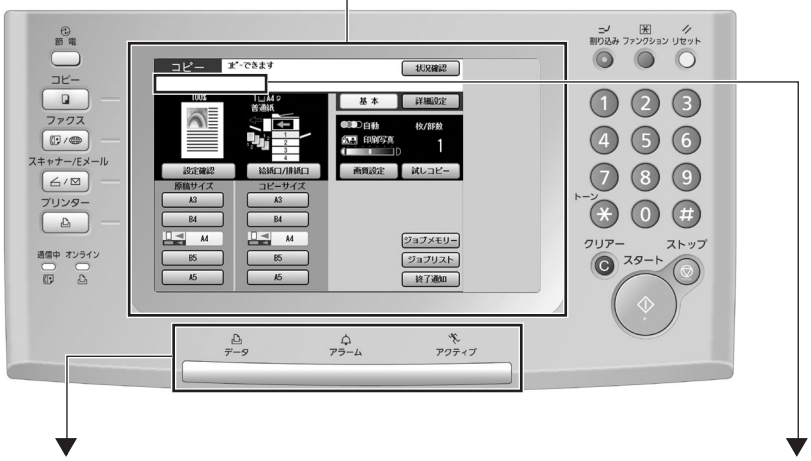
操作パネル



No.	キー / ランプ	説明	No.	キー / ランプ	説明
①	節 電	**節電キー** 節電状態への移行 / 解除をするときに押します。節電状態のときはランプが点滅、または点灯します。	⑪	———	**アクティブランプ** （次ページを参照してください。）
②	———	**タッチパネル** ここに、操作のためのボタンやメッセージが表示されます。操作をするときは、画面に表示されているボタンを指で直接押します。	⑫	———	**アラームランプ** （次ページを参照してください。）
③	———	**壁紙表示エリア** ファンクション設定で、ここに表示する壁紙を変更できます。	⑬	———	**データランプ** （次ページを参照してください。）
④	割り込み	**割り込みキー** 動作中に他の操作を割り込ませたいときに押します。	⑭	オンライン	**オンラインランプ** プリント動作が可能なときにランプが点灯します。
⑤	ファンクション	**ファンクションキー** ファンクション設定の操作をするときに押します。	⑮	通信中	**通信中ランプ** ファクスまたはインターネット FAX 通信中にランプが点滅します。
⑥	リセット	**リセットキー** 画面を初期状態に戻したいときに押します。	⑯	プリンター	**プリンターキー（p.34）** プリントデータの削除や確認、SD カード /USB メモリーのデータを印刷するときに押します。
⑦	1 2 3 4 5 6 7 8 9 トーン * 0 #	**テンキー** コピー部数などを入力するときに押します。	⑰	スキャナー/Eメール	**スキャナー /E メールキー（p.32）** ネットワークスキャナー機能を利用するとき、E メール送信をするときに押します。
⑧	ストップ	**ストップキー** 動作を中止したいときに押します。	⑱	ファクス	**ファクスキー（p.30）** ファクスまたはインターネット FAX を送信するときに押します。
⑨	スタート	**スタートキー** 動作を開始するときに押します。	⑲	コピー	**コピーキー（p.28）** コピーをするときに押します。
⑩	クリアー	**クリアーキー** 入力した数値や文字を消去するときに押します。			

タッチパネル

タッチパネル



データ	データランプ 点滅時：プリントデータ受信中 点灯時：プリント中
アラーム	アラームランプ 点灯時（赤色）： 本機に次のような問題が発生して停止しています。 ●選択された給紙カセットに用紙がない ●トナーがない ●用紙づまり　など 点灯時（オレンジ色）： 本機に次のような問題が発生しています。 ●いずれかの給紙カセットに用紙がない ●トナーが少なくなった など
アクティブ	アクティブランプ 点滅時：動作中 点灯時：データ蓄積中 など

下記の警告が表示されたときは、メッセージと本書の説明に従って、正しく処置してください。

点滅時：本機は動作可能ですが、早めに処置をしてください。

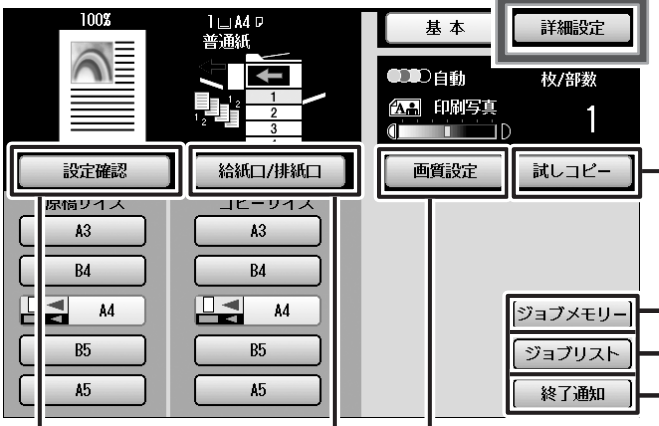
点灯時：本機は動作しません。すぐに処置をしてください。

	定期サービス保守が必要です。 サービス実施会社へお問い合わせください。
	ご使用の給紙カセット/手差しトレイの用紙を補給してください。
	『取扱説明書（メンテナンス編）』を参照し、新しいトナーカートリッジと交換してください。
	『取扱説明書（メンテナンス編）』を参照し、新しい廃トナー容器と交換してください。

コピー機能

CD 収録の「取扱説明書（コピー編）」をご覧ください。

基本画面



[試しコピー]

複数コピーの前に試しのコピーをする

[ジョブメモリー]

よく使用するコピー機能を登録する

[ジョブリスト]

コピー、プリント中のジョブを表示する

[終了通知]

コピーの終了をコンピューターに通知する

[設定確認]

設定したコピー機能を確認する

[給紙口 / 排紙口]

用紙 / コピー排出先を切り替える

[画質設定]

- [自動]
- [白黒]
- [フルカラー]
- [２色カラー]
- [単色カラー]
- 原稿種類
- 濃度
- 画質メモリー

カラーモードを切り替える
原稿の種類を切り替える
コピー濃度を調整する
コピー画質を細かく調整する

[高度な設定]

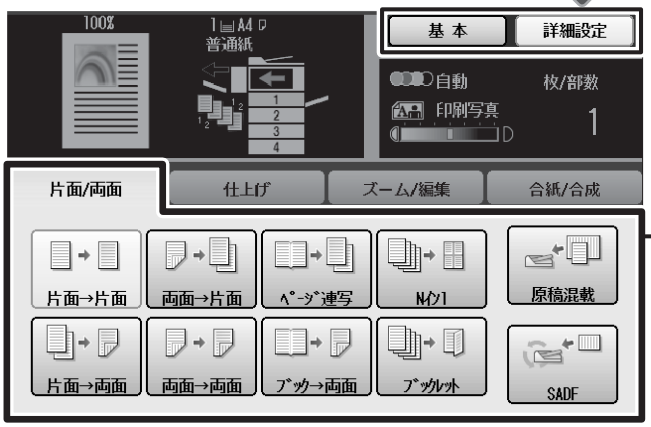
- [標準画質]
- [メリハリ]
- [あざやか]
- [赤み強調]
- [青み強調]
- [詳細設定]
  - [地色除去]
  - [裏写り防止]
  - [赤み青み強調]
  - [コントラスト]
  - [シャープネス]
  - [彩度]
  - [カラーバランス]

その他の機能

- [スカイショット]
- [伝票モード]
- [コピー予約]
- [割り込み]

ADF を開けたままコピーする
設定された範囲だけをコピーする
コピー印刷中に次のコピーを予約する
コピー / プリント中に急ぎのコピーを割り込ませる

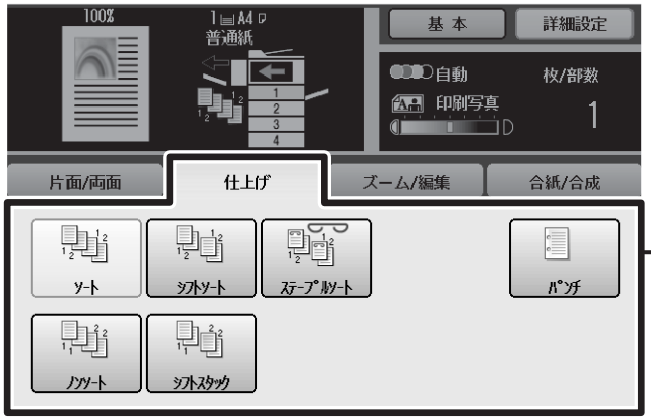
詳細設定画面



[片面 / 両面]

- [片面→片面]
- [片面→両面]
- [両面→片面]
- [両面→両面]
- [ページ連写]
- [ブック→両面]
- [N イン 1]
- [ブックレット]
- [原稿混載]
- [SADF]

両面コピーモードを切り替える



[仕上げ]

- [ソート]
- [ノンソート]
- [回転ソート]
- [回転スタック]
- [シフトソート]
- [シフトスタック]
- [ステープルソート]
- [パンチ]

排紙のしかたを切り替える

[ズーム / 編集]

- [ズーム]
- [オートズーム]
- [エッジ]
- [ブック]
- [とじ代]
- [スタンプ印字]
- [センタリング]
- [イメージリピート]
- [鏡像]
- [ネガポジ]

任意の倍率でコピーする
編集機能を使う

[合紙 / 合成]

- [表紙]
- [合紙]
- [OHP 合紙]
- [合成]
- [フォーム合成]
- [ファイル編集]
- [ダブルスカイショット]

コピーに合紙や表紙をつける
特定の原稿を他の原稿に合成してコピーする
両面原稿を片面 1 枚にまとめてコピーする

ファクス / インターネットFAX機能

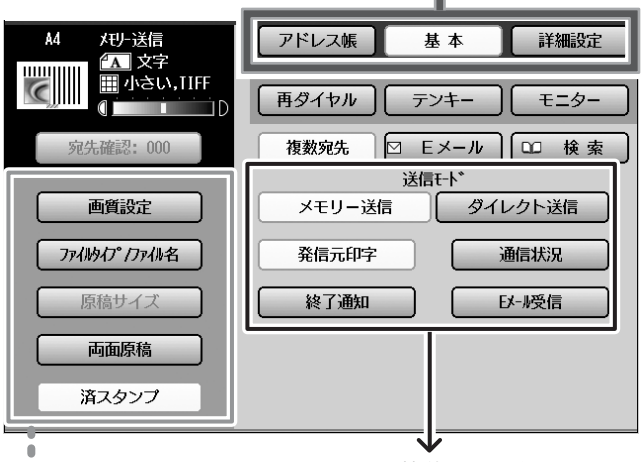
CD 収録の「取扱説明書（ファクス / インターネット FAX 編）」をご覧ください。

アドレス帳画面

[検索]

宛先を検索する

基本画面



メモリーに蓄積して送信する
メモリーに蓄積せずに送信する
発信元印字を設定する
通信状況を確認する
終了通知を使う
E メールを受信する

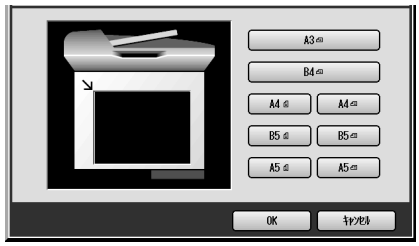
[画質設定]

画質を設定する

[ファイルタイプ / ファイル名]

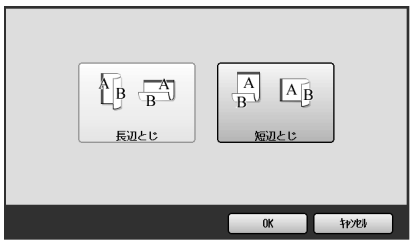
添付ファイルの形式やファイル名を設定する

[原稿サイズ]



原稿サイズを設定する

[両面原稿]

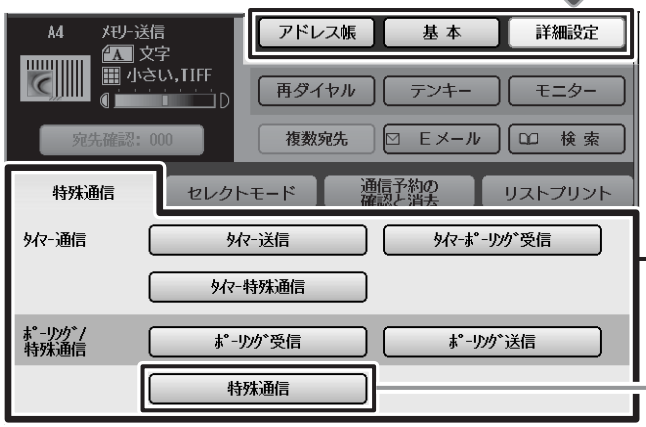


両面原稿を送信する

[済スタンプ]

済スタンプを解除する

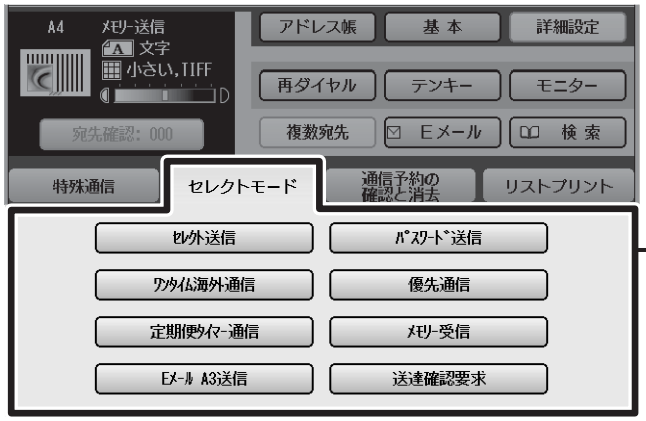
詳細設定画面



[特殊通信]
- [タイマー送信]
- [タイマーポーリング受信]
- [タイマー特殊通信]
- [ポーリング受信]
- [ポーリング送信]

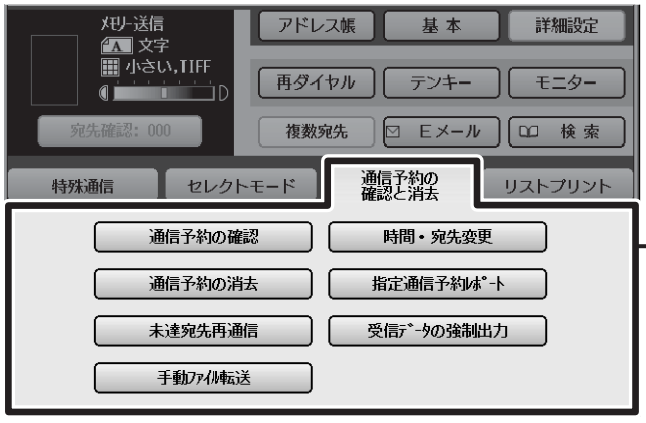
[特殊通信]
- [中継同報指示]
- [ファイル送信]
- [F コード通信]
- [マルチコピー通信]
- [F 網通信]
- [LAN 中継同報指示]

便利なファクス機能
LAN 中継送信を指示する



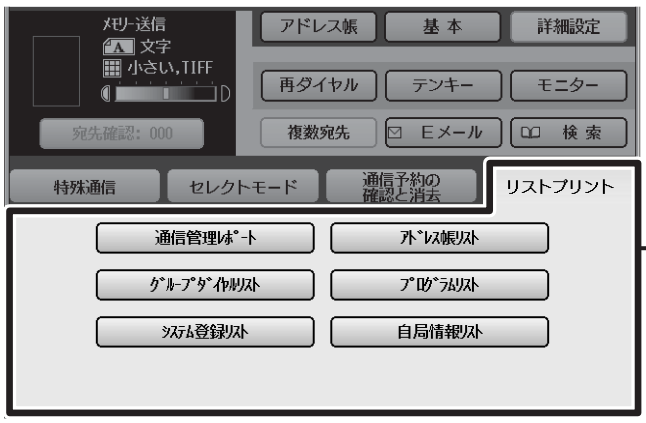
[セレクトモード]
- [セレクト送信]
- [パスワード送信]
- [ワンタイム海外通信]
- [優先通信]
- [定期便タイマー通信]
- [メモリー受信]
- [E メール A3 送信]
- [送達確認要求]

便利なファクス機能
メモリーに受信する
A3 サイズを E メール送信する
送信確認を要求する（MDN）



[通信予約の確認と消去]
- [通信予約の確認]
- [時間・宛先変更]
- [通信予約の消去]
- [指定通信予約レポート]
- [未達宛先再通信]
- [受信データの強制出力]
- [手動ファイル転送]

通信予約ファイルを操作する



[リストプリント]
- [通信管理レポート]
- [アドレス帳リスト]
- [グループダイヤルリスト]
- [プログラムリスト]
- [システム登録リスト]
- [自局情報リスト]

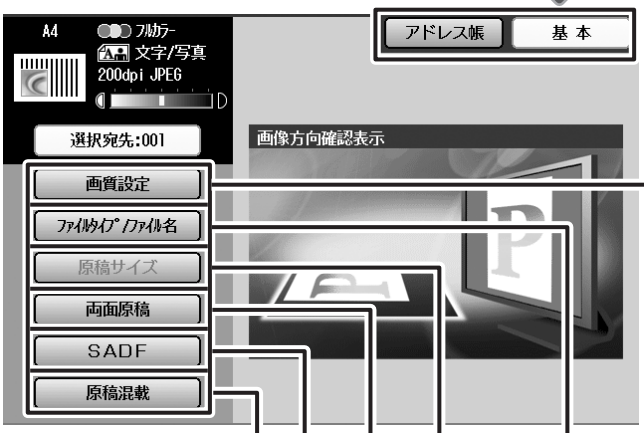
レポート / リストについて

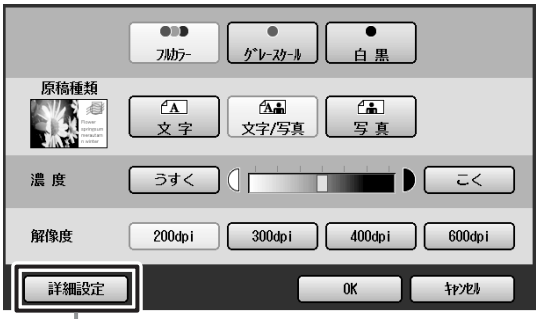
スキャナー /E メール機能

CD 収録の「取扱説明書（スキャナー /E メール編）」をご覧ください。

アドレス帳画面

基本画面





[画質設定]

- [フルカラー]
- [グレースケール]
- [白黒]
- 原稿種類
- 濃度
- 解像度

画質を設定する

[詳細設定]

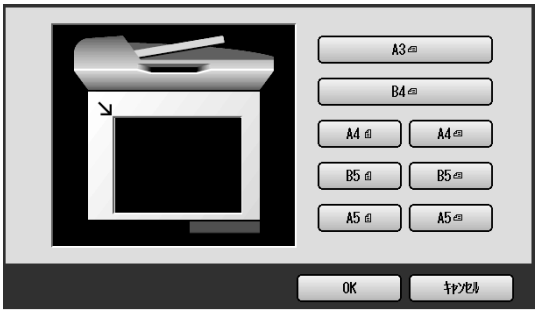
- [圧縮（フルカラー)]
- [圧縮（グレースケール)]
- [圧縮（白黒)]
- [地色除去]
- [裏写り防止]
- [コントラスト]
- [シャープネス]

詳細な設定をする

[ファイルタイプ / ファイル名]

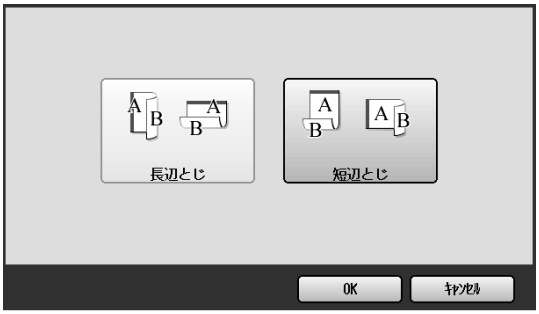
- ファイルタイプ
- ファイル名

ファイルタイプ / ファイル名を設定する



[原稿サイズ]

読み取り範囲を指定する



[両面原稿]

- [長辺とじ]
- [短辺とじ]

両面原稿を読み取る

[SADF]

ADF を使って薄い原稿を読み取る

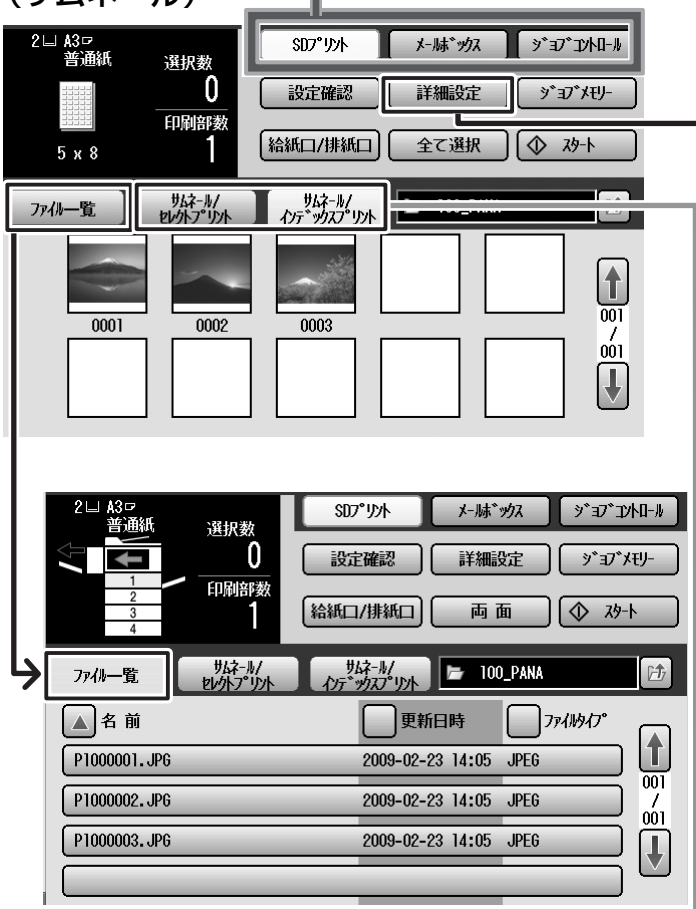
[原稿混載]

サイズが混在した原稿を読み取る

プリンター機能

CD 収録の「取扱説明書 (プリンター編) 」をご覧ください。

SD プリント画面（サムネール）



詳細設定画面（サムネール / セレクトプリントのとき）

詳細設定画面（サムネール / インデックスプリントのとき）

- [カラーモード]
- [画質調整]
  [コントラスト]、[明度]、[彩度]、[赤み青み強調]、[カラーバランス]
- [仕上げ]
- [フレーム設定]
- [インデックス設定]
- [鏡像]
- [両面]
- [イメージリピート]

印刷の設定

セレクトプリント

選択した画像が 1 枚の用紙に 1 つずつ印刷されます。

写真を 1 枚ずつ印刷する（セレクトプリント）

インデックスプリント

選択した複数の画像が 1 枚の用紙に印刷されます。

写真をまとめて印刷する（インデックスプリント）

メールボックス画面

ハードディスクからの印刷

ジョブコントロール画面

・[オンライン]
・[オフライン]
・[印刷中止]
・[ジョブリスト]

印刷ジョブの操作

トラブル時の処置

本機にトラブルが発生した場合は、次の説明に従って処置をしてください。処置をしても状態が変わらない場合は、サービス実施会社にご連絡ください。
●本機にトラブルが発生すると、タッチパネルにエラーコードやメッセージが表示されます。

本機が動作しない

チェック項目	処置
タッチパネルは点灯していますか？	● 電源スイッチ（背面の電源スイッチ、および本体正面左側にあるスタンバイスイッチ）が入っていることを確認してください。 ● 電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。
節電状態やスリープ状態になっていませんか？	● 操作パネルの**<節電>**を押してください。
エラーコード（U##）やメッセージが表示されていませんか？ (U1、U4、U6、U7、U11・・・・など)	● 「U コード /J コード /E コードが表示されたとき」(p.38)を参照して処置をしてください。
ステープル関連のマークやメッセージが表示されていませんか？	● 『取扱説明書（メンテナンス編）』の「ステープルの交換（FQ-SS32)」または「ステープルの交換（DQ-SS35)」を参照してステープルを補給してください。
用紙補給のマークやメッセージが表示されていませんか？（ ）	● 『取扱説明書（メンテナンス編)』の「用紙の補給」を参照して用紙を補給してください。
用紙づまりのマークやエラーコード（J##）が表示されていませんか ？	● 『取扱説明書（メンテナンス編)』の「用紙づまりの処置」を参照して、つまった用紙を取り除いてください。
エラーコード（E##）が表示されていませんか？	● 本体正面左側にあるスタンバイスイッチを、切 / 入します。 ● 切 / 入してもエラーコード(E##)が表示される場合は、エラーコードの番号をメモし、電源スイッチ（本体正面左側にあるスタンバイスイッチ、および背面の電源スイッチ）を切った後、電源プラグを抜き、サービス実施会社にご連絡ください。
排紙トレイに関するエラーメッセージが表示されていませんか？	● 排紙トレイの用紙を取り除いてください。 ● 少ない枚数で表示される場合、給紙カセットの用紙を裏返してセットすると、カールが低減し排紙枚数が増える場合があります。
次の操作を受け付けない状態ですか？	● 本体正面左側にあるスタンバイスイッチを、切 / 入します。 ● 切 / 入しても同じ状態が続く場合は、エラーコードなどをメモし、電源スイッチ（本体正面左側にあるスタンバイスイッチ、および背面の電源スイッチ）を切った後、電源プラグを抜き、サービス実施会社にご連絡ください。

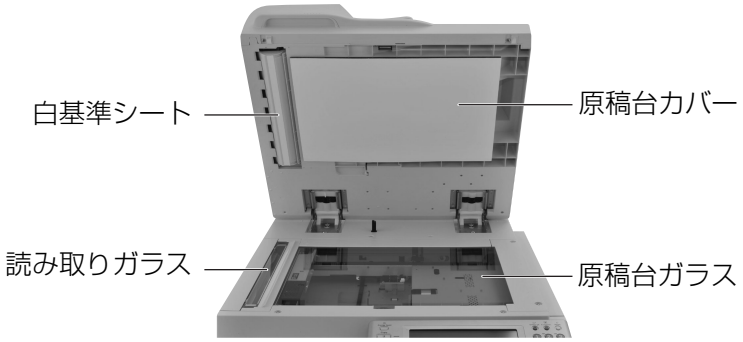
コピー / プリントが薄い

チェック項目	処置
コピーの［画質設定］で［濃度］が［うすく］に設定されていませんか？	● ［こく］を押して、読み取り濃度を濃くしてください。
濃い原稿を大量にコピーしましたか？	● **<ファンクション>**を押し、［共通機能設定］＞［02 トナー手動補給］で［On］、［OK］の順に押し、トナーを補給してください。
トナー補給のマークやメッセージが表示されていませんか？（）	● 『取扱説明書（メンテナンス編）』の「トナーカートリッジの交換」を参照して、トナーカートリッジを交換してください。

コピーが汚れている

チェック項目	処置
コピーにスジが入っていませんか？	(1)『取扱説明書（メンテナンス編）』の「廃トナー容器の交換 / LSU レンズガラスの清掃」を参照して、LSU レンズガラスを清掃してください。 (2)「本機の清掃」（本ページ）を参照して、白基準シートと読み取りガラスを清掃してください。
白基準シート、原稿台カバー、読み取りガラス、または原稿台ガラスが汚れていませんか？	●「本機の清掃」（本ページ）を参照して、白基準シート、原稿台カバー、読み取りガラス、または原稿台ガラスを清掃してください。
OHP シートや第 2 原図用紙などのように、透明度の高い原稿をコピーしていませんか？	● 原稿に白い紙を載せてコピーするか、または［画質設定］で［濃度］を［うすく］に設定してください。

本機の清掃



1 週間に 1 度程度、次の手順で白基準シート、原稿台カバー、読み取りガラス、原稿台ガラスを清掃してください。

① うすめた台所用中性洗剤を含ませ、固くしぼった布で、汚れを落とす

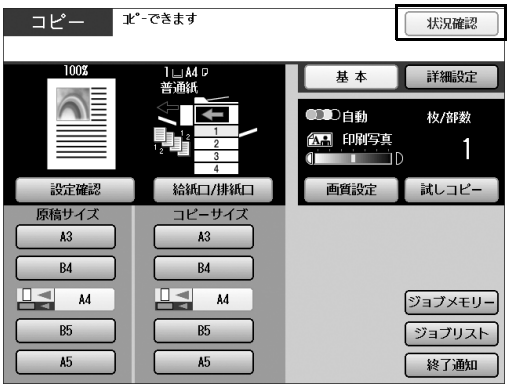
② 乾いた布で拭きとる

本機の状態表示

本機に何らかの異常が発生している場合は、タッチパネル右上の［状況確認］の色が黄色に変わります。
［状況確認］を押すと、詳細を表示できます。

1 黄色く表示されている［状況確認］を押す

（例：コピー機能の画面）

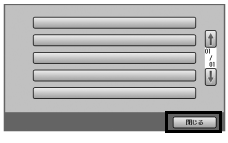


2 詳細を確認したら、［閉じる］を押す

（例：紙なし）

① ［紙なし］を押す

③ ［閉じる］を押す



②給紙カセットを確認して用紙を補給し、［閉じる］を押す

Uコード/Jコード/Eコードが表示されたとき

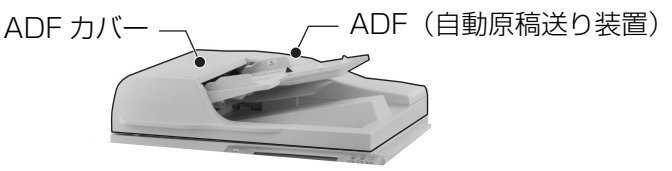
■Uコード

●Uコードのエラーが発生すると、タッチパネル上にエラーの処置手順が写真で表示されます。
ディスプレイ表示と取扱説明書上の手順に従って、正しく処置してください。

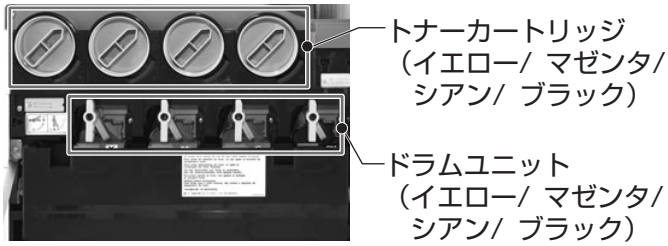
U1	前カバーが開いています。
U4	フィニッシャーが引き出されています。 ＊フィニッシャーが装着されている場合
U6	両面部カバー、給紙カバー1、または右カバーのいずれかが開いています。
U7	給紙カバー2、または給紙カバー3 が開いています。
U8	搬送ユニットのカバーが開いています。 ＊搬送ユニットが装着されている場合
U11	フィニッシャーのビンに用紙が残っています。 ＊フィニッシャーが装着されている場合
U12	フィニッシャー上カバー、またはステープルカバーが開いています。 ＊フィニッシャーが装着されている場合
U13	トナーが少ないか、なくなっています。 サービス実施会社にご連絡ください。

U14	点滅：廃トナー容器の交換時期が近づいています。本機は一時停止しますが、いずれかのキーを押すと、動作が再開されます。早めに処置をしてください。 （マークの点滅後、約 400 枚の コピーが可能です。） 点灯：廃トナー容器が一杯です。本機は停止しますので、交換してください。
U15	廃トナー容器が装着されていません。

U20	ADF カバーが開いています。
U21	ADF で読み取り中に ADF が開けられました。



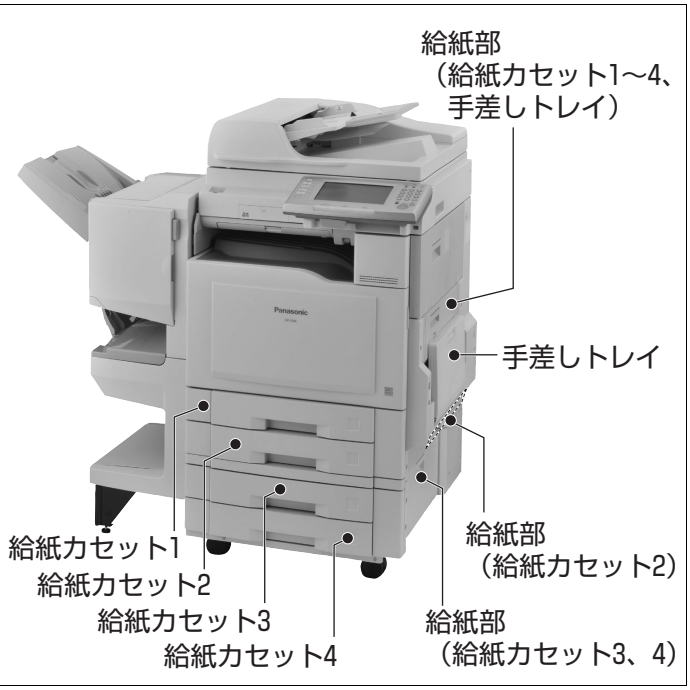
U25	トナーが固まっています。トナーカートリッジを取り出し、よく振ってください。
U28	サービス実施会社にご連絡ください。
U29	ドラムユニットの交換時期です。ドラムユニットを交換してください。交換方法については、『取扱説明書（メンテナンス編）』の「ドラムユニットの交換」を参照してください。



■J コード / E コード

- E コードが表示された場合は、サービス実施会社にご連絡ください。
- J コードエラー（用紙づまり）が発生すると、タッチパネル上にエラーの処置手順がコマ送りの写真で表示されます。ディスプレイ表示と取扱説明書上の手順に従って正しく処置してください。

J00	手差しトレイ（用紙を引き抜き、給紙カバー 1 を一度開き、閉じる）
J01	給紙カセット 1、給紙部（給紙カセット 1 ～ 4、手差しトレイ）
J02	給紙カセット 2、給紙部（給紙カセット 2）
J03	給紙カセット 3、給紙部（給紙カセット 3、4）
J04	給紙カセット 4、給紙部（給紙カセット 3、4）
J06, J26	給紙部（給紙カセット 2）
J07, J08, J09, J27, J28	給紙部（給紙カセット 2 ～ 4）
J16, J18, J33, J35	給紙部（給紙カセット 1 ～ 4、手差しトレイ）



J19	自動両面部、給紙部
J82, J83, J88	自動両面部、定着部 / 排出部
J30, J31, J34, J35, J38-J40, J42-J45	定着部 / 排出部、給紙部
J41, J50, J51, J52,J86	定着部 / 排出部、搬送ユニット（オプション）
J80, J81, J87	定着部 / 排出部
J54-J56	搬送ユニット（オプション）
J60, J63-J66	フィニッシャー（オプション）
J70-J79, J92-J94	ADF（自動原稿送り装置）

- 詳しくは、『取扱説明書（メンテナンス編）』の「用紙づまりの処置」を参照してください。

お願い

- 用紙づまりしている場所がタッチパネルに表示されます。つまっている用紙を取り除いたあと、この表示が消えていることを確認してください。用紙を取り除いても、また別の場所が表示される場合は、その用紙を取り除き、表示が消えていることを確認してください。
- 次のような場合は、無理に用紙を取り除かず、本機の電源を切ってサービス実施会社にご連絡ください。
  ・用紙を取り除けない
  ・見えない場所で用紙づまりが起きている

主な仕様

■本体

		DP-C3040ZFS	DP-C3040Z	DP-C3030ZFS	DP-C3030Z	DP-C2626ZFS	DP-C2626ZF
形式		コンソール型					
原稿台方式		固定					
複写原稿		シート・ブック（最大 A3）					
複写方式		レーザー電子写真方式					
定着方式		IH 定着方式 （IH：Induction Heating）					
現像方式		乾式 2 成分現像方式					
解像度		600 dpi					
操作表示方式		液晶ディスプレイ					
複写サイズ / 用紙サイズ		A3、B4、A4▯、A4▭、B5▯、B5▭、A5▯、A5▭、はがき （はがきは手差しトレイ） 画像欠け幅：先端 3 ～ 5 mm、後端 2 ～ 6 mm、手前 / 奥 4 mm 以内					
ウォームアップタイム 電源投入時 （室温 20 ℃の場合）		約 19 秒	約 15 秒	約 19 秒	約 15 秒	約 19 秒	約 19 秒
		（フィニッシャー、ファクス、インターネット FAX、またはハードディスク装着時はウォームアップタイムが長くなります。）					
ファーストコピータイム (A4 で、給紙カセット 1 を使用した場合)	カラー	約 10.3 秒以内		約 10.3 秒以内		約 10.3 秒以内	
	白黒	約 6.2 秒以内		約 6.7 秒以内		約 7.3 秒以内	
連続複写速度 (A4 で、給紙カセット 1 を使用した場合)	カラー	約 30 枚 / 分		約 30 枚 / 分		約 26 枚 / 分	
	白黒	約 40 枚 / 分		約 30 枚 / 分		約 26 枚 / 分	
複写倍率		等倍　　：100 % プリセット拡大：115 %、122 %、141 %、163 %、173 %、200 % プリセット縮小：50 %、58 %、61 %、71 %、82 %、87 % ズーム　　：25 ～ 400 %（1 % きざみ）					
給紙方式		給紙カセット：550 枚（80 g/m^2）× 4 段 手差しトレイ：100 枚（80 g/m^2）					
用紙厚		給紙カセット：64 ～ 169 g/m^2 手差しトレイ：55 ～ 256 g/m^2					
	両面印刷時	給紙カセット：64 ～ 169 g/m^2 手差しトレイ：64 ～ 256 g/m^2					
連続複写枚数		最大 999 枚					
排紙トレイ 排紙枚数		オプション未装着時：250 枚 /A4（80 g/m^2） フィニッシャーまたは搬送ユニット装着時：150 枚 /A4（80 g/m^2） 許容枚数は用紙種別によって異なります。排紙トレイの用紙が許容枚数を超えると、機械が停止し、エラーメッセージが表示されます。					
SD カードスロット		SD メモリーカード（最大 2 GB）/SDHC メモリーカード (最大 32 GB) 対応					
USB メモリースロット		USB メモリー（FAT16 または FAT32 フォーマット）対応					
電源		AC 100 V、50 Hz/60 Hz					
消費電力	最大	1.5 kW 以下					
	節電モード時	75 W	65 W	75 W	65 W	75 W	65 W
	スリープモード時	15 W	15 W	15 W	15 W	15 W	15 W
寸法（幅×奥行き×高さ）		約 664 mm x 約 774 mm x 約 1200 mm					
質量		約 190 kg （スキャナー部 : 約 39 kg / エンジン部 : 約 123 kg / 給紙カセット部 : 約 28 kg）					

●製品改良のため、記載事項が一部変更になることがありますのでご了承ください。

■ 自動原稿送り装置（ADF）

原稿セット枚数	100 枚 /A4 (80 g/m^2)
原稿サイズ	A3、B4、A4▯、A4▭、B5▯、B5▭、A5▯、A5▭
原稿紙厚	片面時：50 ～ 105 g/m^2 両面時：64 ～ 105 g/m^2
電源	本体より供給

■ プリンター

印刷速度 （A4 普通紙を給紙カセット 1 から印刷した場合）	カラー　：30 枚 / 分（DP-C3040ZFS/DP-C3040Z/ DP-C3030ZFS/DP-C3030Z） 26 枚 / 分（DP-C2626ZFS/DP-C2626ZF） 白黒　：40 枚 / 分（DP-C3040ZFS/DP-C3040Z） 30 枚 / 分（DP-C3030ZFS/DP-C3030Z） 26 枚 / 分（DP-C2626ZFS/DP-C2626ZF）
解像度（dpi）	600 × 600 dpi、1200 × 1200 dpi ※ ※ページメモリーボードが必要です。
インターフェイス	USB 2.0、Ethernet（10Base-T、100Base-TX、1000Base-T）
対応 OS	Windows 2000[*1]、XP[*2]、Vista[*3]、Server 2003[*4]、Server 2008[*5]

*1 Microsoft® Windows® 2000 日本語版 （Service Pack 4 以降）
*2 Microsoft® Windows® XP 日本語版 （Service Pack 2 以降）
*3 Microsoft® Windows Vista® 日本語版
*4 Microsoft® Windows Server® 2003 日本語版 （Service Pack 1 以降）
Microsoft® Windows Server® 2003 Enterprise Edition for Itanium®-based systems には対応していません。
*5 Microsoft® Windows Server® 2008 日本語版
Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise Edition for Itanium®-based systems には対応していません。

●製品改良のため、記載事項が一部変更になることがありますのでご了承ください。

■1 ビンフィニッシャー DA-FS402W（オプション）

用紙サイズ	A3、B4、A4▯、A4▭、B5▯、B5▭、A5▯、A5▭ (A5：ソート、ステープルは不可)
用紙厚	55 ～ 90 g/m^2（ソート、ステープル時)、 55 ～ 169 g/m^2（ノンソート時）
スタック枚数	500 枚：A4/B5/A5（80g/m^2） 250 枚：A3/B4（80 g/m^2）
ステープルソート	30 枚：A4/B5（80 g/m^2） 20 枚：A3/B4（80 g/m^2）
電源	本体より供給
寸法（幅×奥行き×高さ）	182 mm x 498 mm x 257 mm
質量	約 10.6 kg

■1 ビンサドルフィニッシャー DA-FS405W（オプション）

モード	ビン	ノンソート / ソート / ステープル
	トレイ	サドルステッチ
用紙サイズ	ビン	A3、B4、A4▯、A4▭、B5▯、B5▭、A5▯、A5▭
	トレイ	A3、B4、A4▭
用紙厚		55 ～ 256 g/m^2（ノンソート時）
スタック枚数	ビン	最大（片面印刷時）：1000 枚（A5、B5、A4） 500 枚（B4、A3） 30 セット（ステープル時） 両面コピー時は、上記の半数程度でビンから用紙を取り除いてください。 用紙がビンから滑り落ちる場合があります。
	トレイ	最大： 20 セット（5 枚）
ステープル	用紙サイズ	A3、B4、A4▯、A4▭、B5▯、B5▭
	用紙厚	55 ～ 90 g/m^2
	スタック枚数	2 ～ 50 枚 : A4/B5（80g/m^2） 2 ～ 25 枚 : A3/B4 （80g/m^2）
	ステープル位置	手前コーナー（1 ヵ所)、奥コーナー（1 ヵ所)、中央（2 ヵ所）
ステッチ (製本中とじ)	用紙サイズ	A3、B4、A4▭
	用紙厚	64 ～ 90 g/m^2
	スタック枚数	11 ～ 15 枚 / 10 セット（75 g/m^2） 6 ～ 10 枚 / 10 セット、2 ～ 5 枚 / 20 セット（80 g/m^2）
電源		本体より供給
寸法（幅×奥行き×高さ）		661 mm x 603 mm x 464 mm
質量		約 37 kg

■パンチユニット DA-SP41（オプション）

用紙サイズ	A3、B4、A4▯、A4▭、B5▯、B5▭: 2 穴
用紙厚	64 ～ 200 g/m^2
対応フィニッシャー	1 ビンサドルフィニッシャー（DA-FS405W）

●製品改良のため、記載事項が一部変更になることがありますのでご了承ください。

オプション品について

■オプション

お買い上げの機種によって、オプションの構成が異なります。

品名	品番	説明
1ビンサドルフィニッシャー	DA-FS405W	
1ビンフィニッシャー	DA-FS402W	
アウタートレイ	DA-XT320W	
パンチユニット	DA-SP41	1ビンサドルフィニッシャー用
搬送ユニット	DA-FK350W	1ビンサドルフィニッシャー、 1ビンフィニッシャー、アウタートレイ用
G3 通信ユニット	DA-FG402	ファクス通信
G3 増設ユニット	DA-FG403	※
G4 通信ユニット	DA-FG323	※
インターネット FAX ユニット	DA-NF320	インターネット FAX 通信
プリンターコントローラーユニット (Adobe® PostScript® 3™ 用)	DA-MC401	※
ネットワークスキャナー /E メールユニット (文書配信ソフト対応)	DA-NS402	文書配信システム（DDS）用 ネットワークスキャナー /E メール機能
ハードディスクユニット	DA-HD41	
ページメモリーボード　256MB	DA-PMV56	1200dpi 印刷
課金管理ソフト	DA-WA11	課金機能
パナソニック ドキュメント 配信システム	DA-WR12	ルーティング機能
RFID カードリーダー	KU-G2153CT	※
RFID カードリーダー取付キット	DA-AK322	※

■消耗品

品名	品番	説明
トナーカートリッジ（ブラック）	DQ-TUN28K	28,000 枚相当 （*1）
	DQ-TUN05K	5,000 枚相当 （*1）
トナーカートリッジ（シアン）	DQ-TUN20C	20,000 枚相当 （*1）
	DQ-TUN05C	5,000 枚相当 （*1）
トナーカートリッジ（マゼンタ）	DQ-TUN20M	20,000 枚相当 （*1）
	DQ-TUN05M	5,000 枚相当 （*1）
トナーカートリッジ（イエロー）	DQ-TUN20Y	20,000 枚相当 （*1）
	DQ-TUN05Y	5,000 枚相当 （*1）
1ビンフィニッシャー用ステープル針	FQ-SS32	1ビンフィニッシャー用ステープル
1ビンサドルフィニッシャー用ステープル針	DQ-SS35	1ビンサドルフィニッシャー用ステープル
ドラムユニット	DQ-UHU54	OPC ドラム（カラー）
	DQ-UHU59K	OPC ドラム（黒）
廃トナー容器	DQ-BFN45	廃トナー容器
済スタンプ	UG-4105-2	済スタンプ（ファクス用）

(*1) A4 サイズ、各色 5 % 濃度原稿を連続印刷したとき。印刷条件により枚数が異なる場合があります。
※詳細は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。

用紙について

■ 用紙についてのお願い

良好なコピー/ プリントをおとりいただくため、下記の仕様に合った用紙をご使用ください。(詳細は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。)

種類	用紙厚	給紙カセット 1 ～ 4	手差しトレイ	両面コピー / プリント
普通紙	64 ～ 105 g/m^2	○	○	○
上質紙	64 ～ 105 g/m^2	○	○	○
再生紙	64 ～ 105 g/m^2	○	○	○
薄紙	55 ～ 63 g/m^2	×	○	×
厚紙 1	106 ～ 169 g/m^2 *3	○	○	○
厚紙 2	170 ～ 220 g/m^2 *3	×	○	○
厚紙 3 *1	221 ～ 256 g/m^2 *3	×	○	○
コート紙 1	106 ～ 169 g/m^2 *3	×	○	×
コート紙 2	170 ～ 220 g/m^2 *3	×	○	×
コート紙 3 *1	221 ～ 256 g/m^2 *3	×	○	×
普通紙裏	64 ～ 105 g/m^2	○	○	×
厚紙 1 裏	106 ～ 169 g/m^2 *3	○	○	×
厚紙 2 裏	170 ～ 220 g/m^2 *3	×	○	×
厚紙 3 裏 *1	221 ～ 256 g/m^2 *3	×	○	×
コート紙 1 裏	106 ～ 169 g/m^2 *3	×	○	×
コート紙 2 裏	170 ～ 220 g/m^2 *3	×	○	×
コート紙 3 裏紙 *1	221 ～ 256 g/m^2 *3	×	○	×
特殊紙 *2	——————— *3	×	○	×

*1 厚紙 3、厚紙 3 裏紙、コート紙 3、コート紙 3 裏紙の場合、パンチ機能は使用できません。
*2 特殊紙　ラベル紙、はがき (はがき裏紙)、のし紙を指します。
ラベル紙：FQ-PLA4、封筒：長形 3 号（Ncolor 封筒など)、洋長形 3 号、
OHP　：CG3700 3M（4mil）（125μ m）（A4 のみ）
美濃判　：267 mm x 388 mm・半紙判：225 mm x 303 mm（壽紙製品工業株式会社製）
はがき　：官製はがき 100 mm x 148 mm（インクジェット用は除く）
*3 用紙をさばいてからセットしてください。
厚紙がうまく給紙されない場合、トレイに 1 枚ずつセットしてご使用ください。

● 使用できない用紙

下記の用紙は、画質不良や故障、紙づまりの原因になりますので、使用しないでください。

- 感圧紙 A4
- ステープル針がついている用紙
- 本機以外でコピー / プリントされた用紙
- 表面のざらついている用紙
- 白い枠付きの OHP フィルム
- コート紙（106 g/m^2 未満の用紙）
- インクジェット専用紙
- FX ST 紙（52.3 g/m^2）
- 厚紙（256 g/m^2 を超える用紙）
- 薄紙（55 g/m^2 未満の用紙）
- のり付け部がべたついている封筒
- 湿っている封筒 / 用紙
- のり付きの用紙
- カールした用紙
- 布地転写用紙
- 水転写用紙
- 熱転写用紙
- タックフィルム
- 折り目やしわのある用紙
- 写真用紙
- 第二原図
- 耐水紙
- 感熱紙

● 用紙の排紙制限

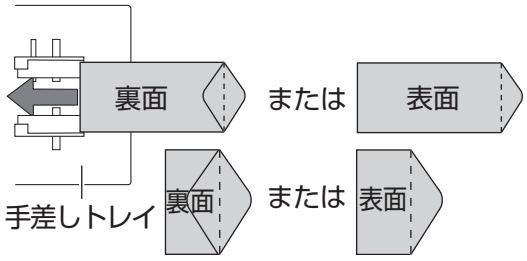
下記のように、用紙によって排紙できるトレイに制限があります。

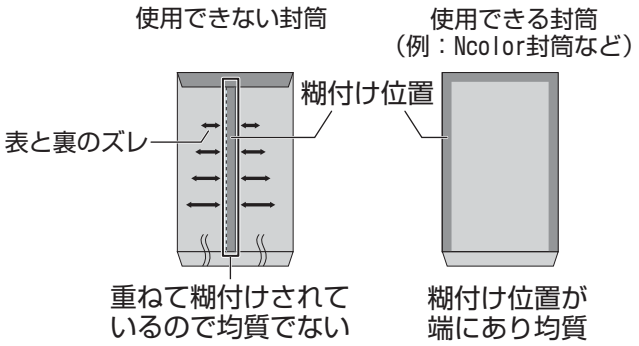
種類	インナートレイ	アウタートレイ	1ビンフィニッシャー DA-FS402W	1ビンサドルフィニッシャー DA-FS405W
厚紙2、厚紙 3、厚紙2裏、厚紙3裏	可	可	不可	可（ノンソート時）
コート紙 2、コート紙3、コート紙2裏、コート紙 3 裏	可	可	不可	可（ノンソート時）
ラベル紙	可	可	不可	可（ノンソート時）
封筒	可	不可	不可	不可
OHP	可	可	可（ノンソート時）	可（ノンソート時）
のし紙	可	可	可（ノンソート時）	可（ノンソート時）
はがき	可	不可	不可	不可

● 特殊紙の給紙方向

印刷したい面を下にする（官製はがきは、切手マークを先にしてセットしてください）

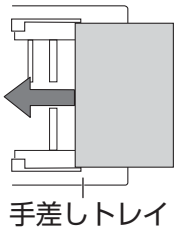
・封筒





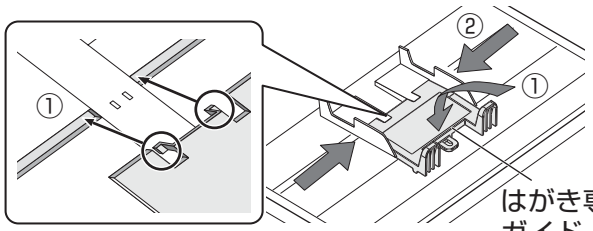
●糊付け位置が端にあり均質な封筒をご使用ください。
（Ncolor 封筒など）
一般的な封筒は表裏で厚みのズレが生じやすく、しわができる原因になります。

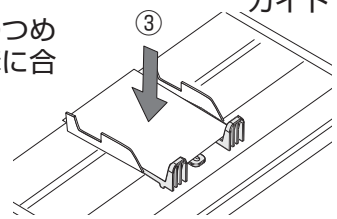
・OHP フィルム / ラベル紙



図のように□方向にセットする

・はがき





はがき専用ガイドのつめを手差しトレイの溝に合わせてセットする

①手差しトレイを開き、はがき専用ガイドを図のようにしてセットする
②手差しトレイの用紙ガイドを、はがきの幅に合わせる
③はがき専用ガイドの上にはがきをセットする
④はがきへの印刷が終了したら、次の手順ではがき専用ガイドを取り外す
(1) 手差しトレイの用紙ガイドを広げる
(2) はがき専用ガイドを取り外す

●手差しトレイの用紙ガイドを広げてからはがき専用トレイを外してください。
用紙ガイドを広げずに取り外すと破損する恐れがあります。

アフターサービスについて

■本機ではいつも良好な状態でお使いいただくために、ＰＣＳ 契約もしくはスポット保守契約のいずれかを結んでいただけます。

●パナソニックカウンターシステム（ＰＣＳ）

良好なコピーがとれるよう定期的に点検および部品交換をいたします。万一の故障にも迅速に対応いたします。又通常使用状態の故障は無償で修理いたします。（感光体・現像剤・部品の交換・調整に必要な費用は ＰＣＳ 料金に含まれています。）

●スポット保守サービスについて

保守サービスと感光体・現像剤および消耗品等の供給はお客様の要請に基づき、お引き受けするものです。
（詳細は、お買い上げの販売担当者にお問い合わせください。）

- 本機の保守契約期間は、ご使用開始日より５年間、または、プリント枚数が６０万枚のいずれか早く到来する日までです。
- 本機の補修用性能部品の保有期間は、本機製造終了後７年間です。

■用紙

良好なコピー／プリントをおとりいただくため、できるだけ当社の推薦紙をご使用ください。
（詳細は、お買い上げの販売担当者にお問い合わせください。）

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

お知らせ

- 使用誤り、静電気、電波の干渉、使用中に電源が切れたときなど記憶内容が変化・消失する場合があります。（発生した損害について、当社が責任を負えない場合があります）
- 本機は日本国内用です。国外での使用に対するサービスは致しかねます。
（This product is designed for use in Japan.
Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.）

Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows NT、Windows Vista、Windows Server、Internet Explorer、PowerPoint、Outlook は、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国に おける登録商標または商標です。
Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

インテル、Intel ロゴ、Intel Inside ロゴ、Itanium、Pentium は、米国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。

USB-IF のロゴは Universal Serial Bus Implementers Forum, Inc の商標です。

TrueType は、米国 Apple Computer, Inc の登録商標です。

Novell, NetWare, intraNetWare, NDS は、米国 Novell, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

PEERLESSPage™ は PEERLESS Systems Corporation の商標です。
PEERLESSPrint® と Memory Reduction Technology® は PEERLESS Systems Corporation の登録商標です。
© 2005 PEERLESS Systems Corporation

PCL は、米国ヒューレット・パッカード社およびその子会社の商標または登録商標です。

Adobe、Adobe ロゴ、PostScript、PostScript3、Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
© 2005 Adobe Systems Incorporated （アドビシステムズ社）

Universal Font Scaling Technology (UFST) および、そのすべての書体は Monotype Imaging 社よりライセンスを受けています。

ColorSet™ は米国の特許商標局で登録されている Monotype Imaging Inc. の登録商標であり、そして他の管轄区域で登録されている場合があります。Monotype Imaging 社からライセンスしている ColorSet™ の技術により、生成および編集したカラープロファイルを使用しています。
© 2005 Monotype Imaging Inc.

libtiff は Silicon Graphics, Inc. で Sam Leffler によって作成されたソフトウェアです。
Copyright © 1988-1997 Sam Leffler
Copyright © 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.

zlib は Jean-loup Gailly and Mark Adler によって作成されたソフトウェアです。
Copyright © 1995-2005 Jean-loup Gailly and Mark Adler

libjpeg は Independent JPEG Group. によって維持されているソフトウェアです。
Copyright © 1991-1998, Thomas G. Lane

その他の本書に記載されている会社名および製品名はそれぞれの各社の商標または登録商標です。

本機には GNU General Public License に基づきライセンスされるプログラム、GNU Lesser General Public License に基づきライセンスされるプログラムおよびその他のオープンソフトウェアが含まれています。その詳細及びライセンス条件については、添付の取扱説明書 CD を参照してください。

本製品は、外国為替及び外国貿易法に定める規制対象貨物（又は技術）に該当します。
本製品を日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可など必要な手続きをお取りください。
This product is a Restricted Product (or contains a Restricted Technology) subject to the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Law.
In case that it is exported or brought out from Japan, you are required to take the necessary procedures, such as obtaining an export license from the Japanese government, in accordance with the Law.

便利メモ （おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　　月　　日	品番
販 売 店 名		
サ ー ビ ス 実施会社名		

パナソニック コミュニケーションズ株式会社
ドキュメントソリューションズカンパニー

L0709-0 (05)
PJQMC1292ZA
July 2009
Printed in Philippines

© Panasonic Communications Co., Ltd. 2009